

かつて傷が小さいのが売りであった腹腔鏡下手術は、拡大された上質な映像を駆使して開腹手術より精緻な手術を行う手段に発展した。腹腔鏡下という制約もあり、吻合、縫合にはステープラーが頻用されているが、こうした器械の entry hole の閉鎖には suturing が用いられることが多い。しかし、suturing が苦手でもロボットを使用すれば嘘のようにきれいな縫合が可能となっている。それ以外の局面でも腹腔鏡下手術には特有の制約があることから、ロボットは十分に腹腔鏡下の手技を修得していない医師が低侵襲手術を行うためには格好のツールであると、欧米では評価されている。さらに Firefly imaging を用いれば炎症性瘢痕の中で安全に胆管を同定できたりする。まさに外科医の足りないところを補う道具である。

しかしわが国では、ロボットのおかげで何とか腹腔鏡下の手技が行えるというレベルの外科医はロボットには触らせてもらえない。どうも釈然としないので、これをアメリカ人に訴えると、一様に crazy だ、本来のロボットの趣旨ではないという意見が返ってくる。それもそのはず、ロボット発祥の地においては「ちょっとしたトレーニングコースを受ければ、明日から君も一流のラパロ医だ」というのがロボットの売りなのだ。試しにロボット支援手術担当であるという米国人医師に、君は腹腔鏡下手術でゴッドハンドだったの？と聞くと、「いや、腹腔鏡下手術はあまりやってなかったんだけど、○×病院でロボットのトレーニングコースを受けてきたんだよ」と答える。そんなものなのだ。

厚労省は、保険点数を上げなければロボット支援の腹腔鏡下手術に対する明らかな優越性を示せと言う。しかし、すでに腹腔鏡下手術がうまくなり過ぎた日本の胃外科医の中でもトップクラスの人たちを集めて、今の時点でこれを要求するのはいかなるものか。今やロボット支援の強みと言えるのは人件費が減ること（本質的には solo surgery を可能にする道具である）と、外科医が身体的に楽であることである。大学院生やレジデントなどを安い給与で働かせている国にはそのメリットはわかるまい。また、少子高齢化が進む中、一向に増えない外科医を大事にしようと思わないのは、将来の国民にとっては残念な判断である。一方で、外資系のメーカーにせさせと外貨を稼がせるのも気に入らない。

というわけで、国産の優れたロボットを使って少人数でサクサクと手術をこなすのが、日本の外科の近未来像と、私は考える。
(小寺泰弘)

臨床外科 (第74巻 第10号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担当 松永・川村・水野・安部

2019年10月20日発行 (毎月1回20日発行)

(1部) 定価: 本体 2,700 円 + 税

2019 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担)	
冊子版/通常	39,840 円 + 税
冊子版/個人特別割引	36,720 円 + 税
電子版/個人特別割引	36,720 円 + 税
冊子 + 電子版/個人特別割引	41,720 円 + 税

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

*「臨床外科」は株式会社医学書院の登録商標です。